八王子市版 GIGAスクール構想（第２期）

Global and Innovation Gateway for All Second

はちおうじっ子の未来を支えるこれからの情報教育のあり方
～デジタルを効果的に活用した、子どもたち一人ひとりに応じた学びの実現～

別紙２

各学校における学習の充実



各教科等における深い学びの実現

・各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせる
・知識を相互に関連付けてより深く理解する
・情報を精査して考えを形成する
・問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりする
・「課題の設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現」という探究的な学びを取り入れる



学び方に関する指導の充実

・児童・生徒が自身の興味・関心や能力・特性に応じて学習を自己調整し、学習方法等を選択する学びを充実させる（教員が一律に学習方法等を指定しない学び）
・「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させる
・デジタル教科書等を有効活用する

情報活用能力の育成

・「情報活用能力系統表」等に基づき系統的・継続的に育成する
  ・情報技術の基本的な操作及び情報技術を活用した情報の収集、整理・比較、発信・伝達等に関すること
  ・情報技術を扱う際の留意事項に関すること（情報モラル教育、メディアリテラシー教育等）
  ・情報技術の特性の科学的な理解に関すること（コンピュータの仕組み、データ活用、生成AI等）

市教育委員会によるICT環境等の整備

- 市研究推進校・情報教育推進委員会等による活用方法の研究と情報発信、教員研修の充実、市内大学・企業等との連携
- ネットワーク環境の改善・ICT支援員による教育支援
- 学習用端末の入れ替え（※1）
- 学習支援ツール・デジタルドリル・デジタルテストの導入（※2）
- デジタル教科書等の導入（※3）
- 統合型校務支援システムの導入検討（※4）
- 教育用情報セキュリティポリシーの策定（※4）
- 商業用学習eポータルの導入検討（※5）

※1　令和7年度（2025年度）中に入れ替えを完了し、令和8年度（2026年度）から使用を開始する。
※2　現在、ベネッセのミライシードを導入しているが、令和8年度（2026年度）に契約が終了するため、早期の検討を要する。
※3　国の動向を踏まえ、新たなデジタル教科書等の導入を検討する。
※4　東京都の方針を踏まえ、共同調達等による共通の枠組みでの導入を検討する。
※5　現在、文部科学省が提供する実証用学習eポータルを導入しているが、サービスの提供終了時期が未定のため、早期の検討を要する。

これからの児童・生徒の姿

デジタルとアナログの良さを組み合わせ、自分に合った方法で学ぶ

例）
・「紙の教科書」と「デジタル教科書等」
・「読む」と「読み上げ機能で聴く」
・「書く」と「入力する（音声入力も含む）」
・「紙に記録する」と「写真や動画等で記録する」
・「本で調べる」と「学習用端末で調べる」
・「0から考える」と「生成AIで考えの素をつくる」
・「他者と相談する」と「共有機能で他者参照する」
・「個別に作業する」と「共同で編集する」
・「教室で学ぶ」と「教室外から学ぶ」

など

これからの教員の姿

デジタルの良さを活かし、負担軽減を図りながら効果的な指導を行う

例）
・デジタルとアナログの良さを組み合わせ、児童・生徒の興味・関心や能力・特性に応じて指導
・提出物やアンケート等のオンライン配付・回収
・オンラインによる各種テストの実施、採点システムの活用
・AIドリルによる指導の効率化
・子どもたちの出欠状況や健康状況、学習状況の一元管理
（商業用学習eポータルを核にした諸情報の管理）
・生成AIを活用した資料作成
・オンライン面談の実施
・ロケーションフリーの校務
・オンライン出退勤管理

など